

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ジャングルたんけんあそび	小	グループ学習 低学年すみれ (国語・算数)	堀川真美

<ねらい>

☆ふれあうあそびや全身を使ったあそびなどを通して教師や友達とのかかわりを豊かにする。

☆紙芝居の読み聞かせを通して言葉や場面の繰り返しの面白さを味わう。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

①紙芝居「ジャングルたんけん」

元々は絵本であるが紙芝居の形式にして見やすくした。登場する「こざる」のペープサートを作成し、話にそって動かしたり、児童に操作させたりした。いろいろな動物の中をこざるがたんけんするストーリーで、児童が好きな動物がページごとに次々と登場することを楽しむことができた。



②リズム体操「ジャングルぐるぐる」

紙芝居に登場した動物がリズム体操の中にも登場し、その動作を真似したり、教師や友達と一緒に踊ったりした。

③ジャングルサーキット

トンネルくぐり、平均台渡り（谷渡り）、すべり台（川下り）の3種類の活動に取り組んだ。まず、それぞれの活動に単体で取り組んでから最終的にサーキットコースにし、最後まで見通しをもって取り組むようにした。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・トンネルは既製のカラートンネルではなく机にシートをかけてトンネルにした。児童1人がトンネルに入ることを嫌がったのでシートを網に換えたところ、スムーズにくぐり笑顔も見られた。
- ・平均台にはワニの絵がついたペットボトルを置き、足を上げてまたぎ超す設定にした。ペットボトルの置き方を変えることで児童の実態に合わせることができた。
- ・すべり台の途中に「滝」にみたてたビニールシート（5センチ幅に切った物）をつるし、くぐるようにした。シートの中から出てくる感覚を楽しむことができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

ビニールシート、ペットボトル、ナイロン製ネット